

# 西洋事情

				和書門
一〇	八	九	九二六六	類
冊	架	函	號	

庫文閣内		内閣文庫	
一八五函	一〇冊	番號	和 9266
一五架		冊數	10 ( 10 )
		函號	185 348



制度局

制度局

左藏

西洋事情外編卷之三

福澤諭吉 纂輯

志院書 籍取締

人院

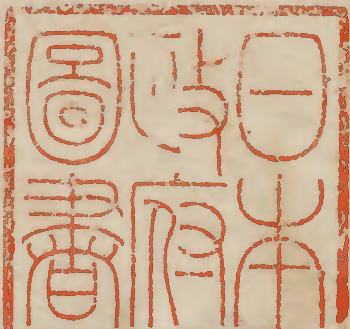
由院

導書

下急務  
ハ先ツ其知識ヲ開ク所得甚ク多シ既ニ父母ノ教  
ハ又學校ニ入ラサル可ラス故ニ天  
學校ヲ設クテ之ヲ扶持スルヨリ先  
ルハナシ蓋シ人民幼ニシテ學ハス長シテ知識  
ケレハ輕舉妄動前後ヲ顧ヒス遂ニハ罪科ニ觸レ

學  
二

人間ノ交際ヲ害スルコト多シ  
人ノ知識ヲ教導スルニモ必シキ也。由テ其徳證  
ヲ養フ可キニ非ラス。古來聰明穎敏ノ譽アル學者  
ニシテ却テ大惡無道ノ人モ、少ナカラス。然レモ  
教育ノ法、宜シキヲ得テ徳行ニ進ミ聖教ニ化スル  
キハ亦以テ盛徳ノ士ヲ出サス可シ。又世間ニ惡事  
ノ惡タルヲ知テ故リラニ之ヲ犯ス者アラハ速ニ  
罰シテ其罪ヲ假シ、勿ルハ可シ。斯ノ如キ輩ハ假  
令ニ罰ヲ蒙ルニモ其罰ノ至當ナルヲ甘シテ罪ニ  
伏シ既往ノ過ヲ改ムヲ知ル可シ。然レモ人ニ知識



乏シクニシテ是非曲直ノ辨別ナキ者ヲ罰スルニ至  
テハ其處置甚ク難シ。其罪ヲ見テ直ニ之ヲ罰スル  
ヨリモ若カズ其人ヲヒテ先ツ是非ヲ辨シ罪ニ陷  
ルコト勿ラシムルニハ是レ所謂真ノ刑法ナリ。人ヲ  
罪スルヨリ人ヲ教ユルノ便利ナラシムルハ何モ  
レダ。其人ヲシテ無知ナラシムルハ教ヘリ。民ヲ  
罰スルハ慘酷ノ甚シキモノト云フ可シ。  
法律ノヨク行ハレ、政府ニ於テハ國ニ罪人アル  
ハ之ヲ捕、夜盜、拐兒、強盜ノ如キモ一度ニ縁綫ニ  
就テ其罪狀明白ナルキハ之ヲ刑ニ處シテ臧典ヲ

明。不可。雖。國。無知文盲ノ人民多キハ其  
 害舉テ云ノ可ラス此輩ハ是非ヲ別ク曲直ヲ辨  
 ケ國法ニ從テ私財ヲ保ツ所以ノ理ヲ知ラスシ  
 テ一旦國ニ騷亂アレハ怒テ其釁ニ乘シテ雲集蜂  
 起シ法ヲモ畏レス人ヲモ憚カラズ慘酷兇惡至  
 サル所ノ其一例ヲ舉テ云ハレ。昔日佛蘭西騷  
 亂ノ時ニ恐ハ可キ暴行ヲ為セシ輩ハ皆無學文盲  
 放盪無賴良政府ノ下ニ居テハ活計ヲ營ムヲ能ハ  
 ズ者ナリ。其。金ヲ費ス。其原因ヲ尋レハ皆下  
 救窮。為。多ク金ヲ費ス。其原因ヲ尋レハ皆下

民ノ無知無識ナルニ由テ然ラシムルモノナリ人  
 ニ知識ナクハ必ス遠キ慮リニ遠キ慮ナキ者ハ  
 目前ノ慾ニ逐ハレテ遂ニハ其惡行名状不可カラ  
 リルニ至ル所アリ第一養生ノ法ヲ知ラス飲食ヲ  
 節スルヲ知ラス人ニ交ルノ道ヲ知ラス廉耻ノ  
 義ヲ知ラス以テ世間ノ風俗ヲ亂タリ共ニ貧窶ノ  
 苦界ニ陥入ルモノ少ナカラス。其。勤勞ノ真理ヲ知ラスニテ貧窮  
 人ニ知識ナクハ勤勞ノ真理ヲ知ラスニテ貧窮  
 ニ困シムヲ甚タル或ハ力役スルニ似タルモ  
 レ其方向ノ誤テ無理ノ道ニ由ルカ故ニ勞シテ

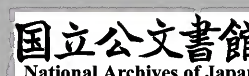


功ヲ成ハ又事實其土地ニ居テ活計ノ道ナクハ  
他國ニ行テ之ヲ求メ自カラ安身ノ方便ナキニ非  
リレハ尚奮發ノ意ナクシテ懶惰ニ安シ甘シテ貧  
窮ニ困シム者少ナカラス即チ蘇格蘭ノ西部ニ住  
居スル野民ノ如キ者はナリ此野民ノ無知ナル  
モ亦甚クシ常ニ貧困ニシテ或ハ餓死スルモノ  
リ然レニ他所ヨリ此貧民ヲ雇テ仕役セシテ欲  
ル者多シト雖レ無知ノ致ス所如何トモス可ラス  
尚郷里ヲ離ルハ一能ハス蠢爾トシテ家ニ止リ終  
歲貧窶ノ苦ヲ嘗メリ

古來種々新發明ニ由テ世間ノ裨益ヲ成セ  
ハ舉テ云フ可ラス然ルニ無知頑陋ノ輩ハ此發明  
工夫ヲ見テ奇異天怪ノ如クニ思ヘリ小民徒黨  
結テ精巧ナル機關ヲ毀テ或ハ其發明家ノ功德ヲ  
謝ヒスシテ却テ之ヲ凌辱セシテ屢コレアリ是レ  
皆無知文盲ノ然ラシムル所ナリ此輩ハ固ヨリ機  
關ノ何物タルヲ知ラスシテ只管コレノ有害無益  
ノ物ト視做シ之カ爲世間一般ノ恩人タル發明家  
モ害ヲ被リシト少ナカラス昔日佛蘭西ノ首府  
リスニコレ病ノ流行セシテ都下ノ衆醫皆心力

之ヲ盡シ之ヲ救ハントセシニ小民等ハコレヲ病  
 ノ何物タルヲ知ラズトテ妄ニ醫師ヲ召ノ醫師毒  
 藥ヲ以テ人ヲ害スルトテ兇人ノ如クニ視做シ屢  
 之ヲ犯シタルヲアリ又醫術研究ノ為ニ死骸ヲ解  
 剖スルヲ見テ無知ノ小民ハ之ヲ醫生ノ罪トセシ  
 新式ノ工夫世ニ行ハレ或ハ時物ノ流行變換スル  
 ニ從テ人モ亦其職業ヲ改メサル可ラス此時ニ當  
 テ事物ノ理ニ通シ器械學ノ趣旨ヲ知ルモノハヨ  
 ク時變ニ應シテ其業ヲ改ムルヲ得ルト雖モ無知  
 文盲ナル者ハ然ラス旧業ヲ固守シテ變通ヲ知ラ

ス坐シテ他ノ新ニ大ノ為ニ窘メラハノニ抑斯  
 ル愚夫ノ意ニハ回來我守ル所ノ職業ノ外天下ニ  
 求ム可キ活計ノ道ナシト思フニクレモ若シ此輩  
 ヲシテ稍物理ニ明カノラシムルハ活計ノ求テ得  
 易スキヲ知リ得テ棄テ新ニ就キ却テ貧困ノ苦ヲ  
 免カシ可シ又之ノ一國ノ為ニ計ルハ救窮ノ費  
 ノ省クノ一大助トモナル可シ  
 稍教育ヲ被リタル人ハ知識ノ貴キヲ知リ知識ヲ  
 養フ為ニハ心力ヲ勞ヒ財物ヲ散スルトモ之ヲ務  
 ムルノ志アレバ愚痴蒙昧ノ輩ハ絶テ此味ヲ知ラ



人ヲ教育ニ知識ヲ養フ等ノ事ニ至テハ恬トシ  
テ心ニ關スル一ナシ是皆無知無學ニ由テ致ス所  
ノ大害ナリ愚夫愚婦ノ子ヲ棄テ、教ヘサル有様  
ヲ見ルニ其心事恢ク可シ又憎ム可シ帝ニ教育ノ  
趣意ヲ知ラズシテ躬カラ心カク勞ヒサルノミ  
ラス甚シキハ他ヨリ厚意ヲ以テ我子弟ヲ教ユル  
者アルモ之ニ對シテ其恩ヲ謝スルコトヲモ知ラザ  
ル者アリ故ニ一國人民ノ中ニテ知識ヲキモノハ  
世ノ教育ヲ助クルニ非ラスニテ却テ之ヲ妨ル者  
ト云フ可シ

石ノ次第ニ付テ貧ニシテ知ラキ者ノ子ノ教育ス  
ルノ一事ハ止ラ得スニテ他人ノ任ト為レリ然レ  
氏人モ亦其シテコノ任ヲ引受テ其煩勞ヲ厭ノ可  
ラサルノ理アリ從來窮民ヲ救ヒ罪人ヲ制スル為  
ニ稅ヲ納ルノ高ハ既ニ已ニ夥シ今人民教育ノ為  
ニ費ス所ノ金ハ人ヲシテ貧困ニ陥ルコトナク又罪  
惡ヲ犯スコトナカラシメシトスルモノニテ所謂禍  
ヲ未然ニ防クノ趣意ナレハ既ニ貧ニキ貧人ヲ救  
ヒ既ニ罪アル罪人ヲ制スル為ニ稅ヲ納ルヨリモ  
其金ヲ費スル功德遠ニ優ル可シ故ニ國中ニ人民

教育ノ入費ヲ出サシムルハ之ヲ貧ルニ非ラス實  
 ハ却テ其税額ヲ減少セシカ為ノリ且右ノ如ク教  
 育ノ為ニ税ヲ集メテ之ヲ用ユル所ハ惡人ヲ罰ス  
 ル為ニハ非ラスシテ人ノ善ヲ助ケ人ノ幸福ヲ成  
 ス為ニ費スカ故ニ佞令ニ或ハ名實齟齬スルコト  
 ハ其税ヲ出タシタル者ノ身ニ於テ之ヲ考フレ  
 ハ金ヲ費ス所以ノ趣意ヲ信シテ自カラ心ニ慊キ  
 一アル可シ大凡人情ニ於テ人ノ惡ヲ罪スルヨリ  
 モ人ノ善ヲ見ルヲ好マサルモノナシ  
 成人ノ云ク國民ヲシテ強ヒテ其子弟ヲ教育セシ

メントスルハ即○人ノ家事私用ニ關係シテ之ヲ  
 妨ルコトナレハ其處置宜キヲ得ルモニ非ラス  
 ト然レド此說甚々非ナリ政府タルモノハ常ニ正  
 道ヲ行ハルヤ否ヲ察シ國民ノ安寧ナルヤ否ヲ  
 見テ若シ然ラザル所アレハ則チ國法ヲ以テ之ニ  
 關係シテ其處置ヲ施サシムル可ラス罪人ヲ罰スル  
 法モ語ヲ易ヘテ之ヲ云ハシムル私事ヲ妨ルコト  
 リ他ナラズ然レド今一家族ノ内ニ罪ヲ犯ス者  
 リテ子ハ父ノ為ニ匿シ父ハ子ノ為ニ匿サシムル  
 ルモ法ニ於テ宥ム可ラス故ニ云ク政府若シ人ヲ



罰之也ノ權アラハ亦人ヲ教ユル權ナカル可ラス  
ト是レ古今ノ金言ナリ刑罰ハ人ノ身ニ苦痛ヲ受  
ケルハルヲナレ世間一般ノ為ヲ謀レハ尚之ヲ  
施行シテ妨ナレ況ヤ教育ハ其人ヲ益シ其人ヲ利  
スルノ趣意ナレハ之ヲ行フニ於テ何等ノ故障  
ル可キヤ余輩斷シテ云フ若シ世間一般ノ為ニ斯  
ル大利益ノ事アラハ仮令ヒ人ノ身ニ苦楚疼痛ヲ  
覺ヘシムルトモ必ス之ヲ行ハサル可ラス  
是故ニ國民教育ノ法ヲ設ルノ一事ハ人ノ不徳ヲ  
矯正シ人ノ貧困ヲ救フ為ニヒトナレハ其教育ヲ

受ル者ニ利益アルノミナラス又此法ヲ設ル為ニ  
金ヲ費ス者モ自カラ利スル所アル可シ然レモ一  
丁字ヲ知ラザル小民ニ至ルマテモ盡ク政府ノ力  
ヲ以テ教育セシトスルカ如キハ事實行ハレ難キ  
トナルカ故ニ政府ハ唯學校ヲ設ケテ諸塾ノ教師  
ト為ル可キ人物ヲ養ヒ其他教育ノ事ニ付キ平人  
ノ辨シ難キ以テ費ヲ出タスヲ以テ其任トセリ  
人トシテ高上ノ學ニ志シ其極度ニ達スル者アレ  
ハ之ニ由テ世上一般ノ裨益ヲ為ス少ナカラズ  
譬ヘハ爰ニ一少年アリ其天稟事ヲ成ス可キ器量

其素志ヲ達セシカ爲ニハ書籍ヲカル可ラス學術  
ニ用テハ器械ヲカル可ラス其他種々ノ物品ヲ購  
ノカ爲其穴費頗ル多シ但シ是等ノ物品ヲ求メテ  
自己ノ便利ヲ達シ自己ノ奢侈ヲ恣ニセシトスル  
ノ趣意ナレハ他ヨリ之ヲ助ク可キノ理ナシト雖  
氏其一身ノ俸養ハ千辛萬苦ヲ取テ憚テ所ヲシト  
テ自カラ決心セルモノナレハ其心事實ニ憐ム可  
シ然ルニ古來富豪ノ家ニ生レ百般ノ需用不自由  
ナクシテ斯ル大志ヲ抱ク者ハ甚々稀ナリ少年ニ

シテ大業ヲ企ル者ハ多クハ父母ノ助力ヲ得サル  
貧家ノ子ナレバ其志ヲ達スルニ至テハ國中一般  
ノ爲ニ大裨益ヲ起スル故ニ國中ノ人モ亦平生ヨ  
リ此寒書生ヲ助クシハ可ラス即チ國ニ大學校等  
ノ設ルニモコノ趣旨ナリ大學校ノ内ニハ書庫ヲ  
リ博物府アリ又窮理學ニ用テハ器械等モ備ハリ  
テ寒貧書生ト雖モ自由ニ此物品ヲ用ヒテ志ス所  
ノ學業ヲ研究ス可シ大凡人民教育ノ爲ニ右等  
ノ法ヲ設ク多ク金ヲ費シテ其處置ヲ誤ルナラハ  
一國ノ繁榮ヲ致スル更ニ疑ヲ容ル可キニ非ラス

經濟總論

前、条々ハ專ラ人間交際ノ道ヲ明カニシ良政府ノ主宰ヲ説タルヒ、ニテ稍經濟ノ論ニハ速サカリテ之ヲ人間交際ノ學トヒ謂フ可シ然レモ他ニ又種々ノ事情アリテ其處置宜シキヲ得レハ自カラ人間ノ交際ヲ助ケ良政府ノ基ヲ開キ以テ世人ノ幸福ヲ増ス可キヒ、少ナカラスト、一ハ前既ニ之ヲ記シタリ  
今此条目ニ於テハ經濟ニ關係セル事ヲ論ス可シ  
交際ノ學ハ經濟ノ學トハ其關係甚々大ナリト雖

此一般ニ之ヲ論スレハ交際學ノ大趣意ハ事物ノ條理ヲ正タシ是非ヲ明カニシ人々ヲシテ互ニ相親愛シ互ニ相敵視スルニ勿ラシムルニ在リ經濟學ノ旨トスル所ハ人間衣食住ノ需用ヲ給シ財ヲ増シ富ヲ致シ人ヲシテ歡樂ヲ享ケシムルニ在リ往古ノ碩學始メテ經濟ノ事ニ自書ヲ著シ之ヲ富國論ト名ケリ其説ニ據レハ人ハ家法ヲ節シテ富ヲ致ス可キカ故ニ之ヲ大ニシテ一國ニ施スルハ亦以テ一國ヲ富ク成ス可シト云ヘリ然リト雖モ世ノ學者經濟ノ學ハ唯富ヲ致スモノト思ヒ或

富ヲ致シテ之ヲ守ル所以ノ趣意ナリト思フハ  
大ナル誤解ナリ抑經濟ノ大趣意ハ人ノ作業ヲ束  
縛スルニハ非ラスシテ却テ其天賦ニ從ヒ自由ニ  
其力ヲ伸ヘシムルモノナリ故ニ其議論人間交際  
ノ事ヲハ後ニシテ專ラ人間自由ノ所業ヲ抑制シ  
テ弊害ノ生スル所以ヲ明カニセリ今此編ニ於テ  
ハ交際ノ議論ヲ終テ經濟論ニ移ラントスル所ナ  
レハ其趣旨ノ詳ナラフ論スルハ左ノ如シ  
ボリチカハエコノミシ經濟ノ字ハ其字義ヲ以  
テ事實ノ義ヲ盡スニ足ラズエコノミシトハ希臘

ノ語ニテ家法ト云フ義ナリ家法トハ家ヲ保ツ  
規則ニテ家内百般ノ事ヲ整理スルモノナリ家事ヲ  
整理スルハ術ハ無益ノ費ヲ省クヲ以テ大眼目ト  
スルカ故ニエコノミシノ文字ハ唯質素儉約ノ義  
ニシテ用ユルモノナリ上ニボリチカハ守ハ國ト  
云ハル義ナレハ此二字ヲ合セテボリチカハエコ  
ノミシトスルハ唯國民家ヲ保ツノ法ト云ヘル  
義ヲ成スルニシテ  
經濟ハ畢竟一種ノ學文ニテ之ヲ法術ト云フ可ラ  
スマッコルロクク氏云ク經濟トハ物ヲ産シ物ヲ製シ

經濟學

七

物ヲ積ニ物ヲ散ニ物ヲ費スニ其紀律ヲ設ル所以  
ノ學文ニ即チ其物トハ或ハ必用ナル物アリ或  
ハ便利ナル物アリ或ハ人意ヲ悅ハシムル物アリ  
テ何レモコレヲ賣買シテ價アルモノナリト又或  
人ノ説ニ此學ハ資財ノ事情ヲ説キ之ニ由テ生ス  
ル所ノ物ト又之ヲ分配スル法方トヲ論スルモノ  
ナリト云ハリ  
紙上ノ議論ヲ以テ此學ノ趣旨ヲ辨セトスルニ  
初心ノ輩ニハ容易ニ了解シ難キカ故ニ學者若シ  
十分ニ其要訣ヲ知ラズト欲セハ先ニコレニ從事

ニテ下學上達次第ニ其議論ノ貴キヲ知リ次第ニ  
其佳境ヲ探ル可シ然レバ此學ニ入門スル者ハ預  
メ學文ノ範圍ヲ知り其議論ノ及フ所ノ境界ヲ察  
セリト可ラズ若シ然ラザルハ此學文上ニ關係  
セシ事件ヲ思フヒト書中ニ於テハ事實其議論  
ヲクニシ之ヲ為學者ノ望ヲ失ハルル可クレ  
ハナリ抑經濟學ノ主トシテ所ハ人間需用品ノ状  
態ヲ説ク之ヲ採用シテ法ヲ明カニシ私有品ノ増  
減スル所以ノ理ヲ論スルニ蓋レ一身ノ徳ヲ明  
カニシ人ニ交ルノ道ヲ修ルカ如キハ元來聖教道

德政治學ノ關係スル所ニテ經濟學ニハ之ヲ議論

右ノ如ク學科ニ區別スル所以ヲ明カセシメ為爰  
ニ一例ヲ舉ルヘ左ノ如シ經濟學ノ論ニ云ク力ヲ  
以テ人ヲ束縛シ強ク之ヲ役スルハ其功粗  
ニシテ駁リテ不羈獨立躬カラ富ヲ致スル趣意ヲ  
以テ人ヲ鼓舞シ自由ニ之ヲ役スルハ其功精ニ  
ラ美ヲリ故ニ賣奴ハ唯甘蔗ノ田ノ其リ烟草ノ葉  
ヲ抄テ之ヲ摘テ等ノ如ク粗糲ノ業ニ用ニ可  
キナリル蒸氣ノ器械ヲ製シ精巧ノ機關ヲ取扱ノ

等ノ事ニ至テハ賣奴ノ能スル所ニ非ラスト之ニ  
由テ考フレハ經濟學ノ論ハ唯人ヲ自由ニ役シテ  
高シ精美ノ功ヲ成メ可ク所以ノ説クノニ賣奴  
ノ惡法ヲ誅謗シ其天埋人道ニ背ク所以ヲ辨論ス  
ルハ經濟學ノ趣旨ニ非ラズ  
又經濟學ニ於テハ博奕打賭ヲ以テ人間ニ益ヲヤ  
モノトシ其議論ニ云ク骰子ヲ投シ競馬ニ賭シテ  
錢ヲ得ルトハ事實世ニ物ヲ生スルハ一ニ斯ク錢  
ヲ得シ者ハ他ノ便利ヲ達スルヲ醫農工商ノ如ク  
ナラザルニマナラス金ヲ得シカ為不良ヲ為シ唯

西洋事情外編

卷三

三

彼一損ニシテ是ニ得ルノミ且其博奕打賭ヲ行ノ  
間ハ無益ニ時ヲ失ヒ無益ニ心カヲ勞レテ其損  
タルヲ甚ク大ナリト經濟家ノ所論ハ唯斯ノ如ク  
博奕打賭ノ惡事タル所以ヲ辨シ人心ノ非ヲ  
正トスノトハ聖教道德ノ學科ニ讓テ之ヲ論スル  
トナシ  
右ノ如ク經濟學ト他ノ學科トノ方界ヲ明カニ  
ルニハ經濟ノ實情ヲ知ルト緊要ナリト雖モ先  
是學ニ入ルノ門ヲ求メ次第ニ其階梯ヲ登ルニ非  
ラソレハ樓閣ニ登テ真境ヲ見ルヲ得ハカラズ學

者若シ是道ニ從事ニテ漸ク其真味ヲ嘗ルニ至ラ  
ハ果シテ大ニ發明メルトナル可シ即チ人ニハ一種  
天賦ノ性情アリテ今一方ヨリ直ニ其情實ニ就テ  
之ヲ見ルハ褊小ナル私慾ニテ甚ク賤ム可シ似  
タレバ其性情ノ自然ニ從ヒ廣ク人間ノ交ヲ成セ  
ル景況ヲ察スルハ即チ此性情ハ人ヲレテ其安寧  
幸福ヲ進メ至善ノ德誼ニ達セシム可キ天與ノ賜  
ト云フ可シ譬ハハ物ヲ買ヒ物ヲ賣ルノ一事ハ元  
利ヲ射ルノ欲心ニ出テ其趣意甚ク鄙陋ナルニ似  
タレバ賣買ノ道ハ全世界中ノ欠乏品ヲ給フ有餘

不足ヲ平均スルノ方便アリトモテ之ヲ考フハ  
帝ノ天賜ノ物品ヲ海内ニ分布シテ人ノ便利ヲ達  
スルノミナリテ其物品ニ藉リテ世ノ文明開化ヲ  
助ク人ノ知識見聞ヲ博クモ太平無事ニシテ人類  
ノ交ヲ親シカラシムルニ足ル可シ  
世界萬有ヲ察スルニ日月星辰ノ旋轉スルアリ動  
物植物ノ生スルアリ地皮ノ層々相重サナハアリ  
ト雖モ各ニ定メテ法則ニ歸スルヲ嘗テ其功用ヲ錯ル  
トナシテ實ニ驚歎ニ堪タリ抑經濟ノ學ニ於テモ  
亦亦定メテ法則ニ歸スルヲ嘗テ其定則ニ

一斑ヲ窺フハ或ハ大典アルニ似テ之ヲ名状ス  
ルニ甚ク難シト雖モ合ニテ一眸ト爲シ其全壁ヲ  
見ルハ至善至美盡リル所ナシ故ニ是學ニ猶他  
ノ生物論、地質論、本草學ノ如ク共ニ是レ地球上ノ  
一學科ナリト雖モ其理ヲ窮ムルニ至ラハ亦以テ造  
化靈妙ノ仁徳ヲ窺ヒ見ルニ足レリ右ノ如ク經濟  
學ノ定則ハ元人造ラズ非ラズ又人意ヲ以テ之ヲ變  
易改正ス可キモノニモ非ラザレハ人或ハ問ヲ發  
スル者アラシ何等ノ趣意ヲ以テ是學ヲ研究スル  
ヤト余答テ云ハシ唯其定則ヲ知テ之ニ從ハシカ



西澤博士の論  
卷三  
為テリ譬ハ一人身ハ天然生理ノ定則ニ從テヨク  
其生ヲ保テ無恙健康ナルヲ得ルモノニテ其定  
則ハ人ノ意匠ヲ以テ變易改正ス可キニ非ラス然  
レト人トシテ人身窮理ヲ研究スルノ趣意ハ何  
ヤ唯其定則ヲシテ人身ノ内ニ行ハレシメ其作用  
ヲ逞フセシメテ天然ヲ妨ルコト勿カラレカ為ナリ  
故ニ云ク經濟學ヲ研究スルハ人身窮理ヲ學フノ  
趣意ニ異ナラスト  
人心若シ禽獸ノ如ク・エテ是非ノ別ヲ知ラズ唯  
天性ノ慾ニ從テ事ヲ為スモノヲテハ定則ヲ設ケ

テ之ニ從ハシメレトハムニ無益ノコトナレト人ノ  
事ノ為スル必ス思フテ然ル後ニ之ヲ行フモノナ  
リ或ハ又其コレヲ行フノ間ニ自然ノ定則ヲ誤解  
シテ事ヲ錯ルアリ或ハ心ニ知テ故ツラニ法ヲ犯  
スアリ今人身窮理ノ定則ヲ了解スル者ハ空氣ノ  
閉塞汚穢ノ蒸發不良ノ食物等ヲ以テ疾病ノ原因  
トシテ之ヲ避クルコトヲ知レリ經濟家モ亦人間ノ  
衣食住ヲ整理シ人ヲシテ安樂ヲラシムル所以ノ  
定則ヲ察シテ若シ此定則ヲ妨クルモノアリハ其  
妨害ヲ除クコトヲ知レリ殊ニ人ノ上ニ立テ衆ヲ御

西澤博士の論  
卷三  
十六

スル者ニ於テハ此定則ヲ知ハテ最モ緊要ナリ一  
事トス譬ヘハ世ニ暴君アリテ専ラ私慾ヲ恣ニシ  
其國ノ諸港ヘ臺場ヲ築テ外國人ノ來ルヲ防キ我  
國人ヲシテ他ニ交リ有餘不足ヲ貿易スルヲ禁  
シテハ一國ノ窮スルニモ亦甚シカニ可ト雖モ  
仁君代テ出レハ必ス此妨害ヲ除キ貿易ノ法ヲ立  
テ、國民ヲ塗炭ニ救フコトヲ可ト是即チ經濟學  
ノ然ラシム所ナリ但シ經濟學ノ趣旨ハ賣買ノ道  
ヲ保護シ之ヲ鼓舞シテ世ノ貿易ヲ盛ナラシム  
所以ノ理ヲ論スルニモ一ラ實地ニ施スノ處置ニ

至テハ政治學ノ關ル所トセリ  
經濟ノ定則自カラ世ニ行ハル、所以ノ理ヲ説明  
センカ為ニ箇条ノ例ヲ示スト左ノ如シ但シ、  
事ハ物品ノ需要ト供給トニ關係スル箇条ノ一  
其詳ナハ下編ニ記ス可ト即チ其一例ハ龍動府  
ノ龍動ノ人口二百萬有余一日ノ費ハ所ノ食物  
牛三百頭、羊二百二十六、羊仔七百、牛仔、豚仔ノ數  
モ之ニ稱フ、莖餅十七萬五千三百五十、  
一、ポルトガルハ牛酪六十二百、  
四、ポルトガルハ牛酪六十二百、  
ポルトガルハ牛乳二萬七千五百三十四、  
ガ、  
十七

南洋傳説

卷三

十七

卷三

減ニ或ハ其三分一ヲ減スルハ市民ノ困苦  
固ヨリ論ヲ俟タス之カ為甚シキ混乱ヲ生ス可  
シ然レモ古來嘗テ斯ル事變ノ起リシトナク市民  
ニ於テモ亦斯ル事變ノ起ル可シトテ未來ヲ慮カ  
ルモノモテク安シテ生ヲ送レソ朝第八時ニ起テ  
戸ヲ開ケハ正シク其時刻ヲ違ヘヌシテ蓋餅ノ暖  
ナルヲ齎ラシ來ル者アリ若シ然ラサレハ則テ戸  
外ヲ出ハテ數十歩ニシテ之ヲ買フ可シ蓋シ其蓋  
餅ヲ作ル者ハ曉第四時ヨリ起キ麵粉ヲ調和シテ

火ニ上テ第八時ニ當テ暖餅正ニ製了シ以テ他人  
ノ意ニ適セシムルコトヲ勉ムルモノナリ蒸餅ヲ製  
スル者ハ麵粉ヲ買テ麵粉ヲ磨スル者ハ麥ヲ買テ  
其麥ハ或ハ英國ニ生シ或ハ亞米利加ニ生シ或ハ  
黒海ヨリ來ルモノアリ或ハ北海ヨリ來ルモノアリ  
リ又砂糖ヲ買フハ蒸餅ヲ買フヨリモ容易ナレド  
其由テ來ル所ヲ尋ヘテ黃道以内熱帶ノ地方ニ  
ル黒奴ノ耕テ製シタルモノナリ茶ハ一万里外  
ノ支那國ニ生シ之ヲ養ヒ之ヲ采リ之ヲ撰ヒ之ヲ  
製スル者ハ其國內ノ人種ナリコノ名品ヲ遠ク我

支那國ニ生シ之ヲ養ヒ之ヲ采リ之ヲ撰ヒ之ヲ製スル者ハ其國內ノ人種ナリコノ名品ヲ遠ク我

西澤車... 卷三

國、送ッ吾人ノ日用、供ス、其品ヲ用、其  
人ヲ知ラ、支那國內地ノ風俗、未ダ人、詳ニ  
サル所、其土人ノ有様ヲ見、一場ノ奇觀トシ  
云フ可キ程、一ナリ故、今龍動ノ住人一名ヲ見  
テ其一日ニ飲食スル所ノ物ヲ検査シ其由ヲ采ル  
所ヲ尋レ、唯一人ノ飲食ヲ給スルカ為ニ、數千  
万ノ人負全世界中ノ各處、布在シテ各一班ノ用  
ヲ達セ、其事情ヲ譬ヘテ一ノ機關トシ、昌大精  
巧ノ妙機ト云フモ、帝ナラス豈人カヲ以テ整理ス  
可キモ、ナラレ、然、而、龍動府ノ政治ヲ、及、顧

スルニ其政治、趣旨ハ府内物品ノ需要ヲ助ケ勸  
ルニモ非ラ、亦其供給ヲ制スルニモ非ラ、往  
止、ス、來ノ防カ、唯人間自然ノ勢ニ任スルニ  
裁判局ヲ建テ市中ノ取締ヲ設ケテ人命ト私財  
ヲ保護シ市民相對ノ約條ヲ固ク、ハ、為、ハ、官府  
ノ法ヲ以テ之ヲ維持シ人ノ往來ヲ便利ス、ハ、為  
ニ、ハ、道ヲ作テ常ニ之ヲ補理シ高賣船ヲ陸ニ近  
ケ荷物ノ積卸ヲ便利スル為ニ、ハ、船入ト波戸場  
トヲ設ケ河ニハ舟ヲ浮フ可ク陸ニハ車ヲ通ス可  
ク各其處置ヲ為シ是等皆貿易ノ道ヲ制スル

西澤車... 卷三

趣旨ニ非ラス唯貿易自然ノ道ニ從テ自由ニ事ヲ  
成ス可キ為ノ余地ヲ興フルノ事ニ  
前条所記ノ第二例トシテ今爰ニハ莫太ノ人負  
集メ人カヲ以テ其需要品ヲ給セシトセシ一大事  
件ヲ記ス可シ大九古來世ニ英傑少クカラスト雖  
モ斯ル大事件ヲ企ツ可キ才幹ヲ抱キ且ツ其事ヲ  
成ス可キ威力アリシ者ハ第一世拿破崙ノ石ニ出  
ツルモノナカル可シ千八百十二年拿破崙五十五萬  
ノ兵ヲ卒ヒテ魯西亞ヲ攻メシハ其兵ニ分テ三大  
隊トナヒリ故ニ其人負ノ相合集ニテ地ニ稍廣ク

シテ能動府ノ人戸稠密ナリカ如クナラス此大兵  
ニ食糧ヲ給スル為ニハ盛ニ制度ヲ建テ牛羊ヲ逐  
フ者アリ之ヲ屠ル者アリ麵粉ヲ磨スル者アリ蒸  
餅ヲ焼ク者アリ炊夫厨人備具セリルハナシ之ヲ  
指揮スルニハ先ツ總督數名ヲ命シ次ニ附屬官  
ヲ從カセテ各其職掌ヲ盡シシメ書記官ハ以テ出  
納ヲ記シ監察人ヲ將士ノ邪正ヲ糾シ一切ノ法  
令嚴整ナラサヌハナシ實ニ此一舉ニ於テハ拿破  
崙ニ生涯ノ才力ヲ揮ヒシモノト云フ可シ然ルニ  
軍令ノ嚴整既ニ是ノ如シト雖モ尚以テ大兵ヲ養

洋書精編 卷三 三

フニ是ラズ兵卒ノ内過半ハ未ク魯西亞ノ國境  
 入ラズシテ先ツ食料ニ窮シテ進ム能ハス其進  
 テ境ニ入リシ者ハ數日ニシテ餓死スル者アリ或  
 ハ飲食多キニ過キテ食傷スル者アリ右ノ次第ヲ  
 以テ兵糧ノ事ニ任シタル者ハ嚴罰ヲ蒙リテ縊殺  
 セラル、モ、モアリ射殺セラレ、モ、モアリ  
 雖此遂ニ食料ニ過不及ヲ制シテ諸隊ニ一様ニ及  
 ホス、能ハソリシト云是即チ人爲ノ處置ハ以テ  
 自然ノ尚賣ニ及ハサル所以ナリ  
 蘇格蘭ノ牛羊ヲ飼フ者ハ深山幽谷ニ越シ龍動

一市ニ來テ之ヲ賣ハ、其途中最ニ謹慎ヲ加ヘソ  
 其故ハ何ソヤ牛羊ヲ守護スルハ即チ自己ノ利益  
 タレハソリ拿破崙ノ軍ニ從テ牛羊ヲ逐フ者ハ然  
 ラス之ヲ逐ケテ身軀疲勞ニ成ハ連日ノ煩ハ倦ム  
 氏ハ乃チ私ニ之ヲ殺シテ路傍ニ棄テ其腐敗ハ  
 フテ顧ミズシテ去ルヒ、少シカラバ、其場所  
 フ距ルニ僅カニ數十里ノ處ニハ兵卒皆飢餓ニ苦  
 ミ日夜牛羊ヲ至ハテ待テ殆ト無死ノ時ナリ又軍  
 隊ノ此處ニハ山海ノ珍味ヲ連日テ飲食流ルル  
 如クナリ、彼處ニ在テハ拿破崙ノ愛將ト雖ハ飢

渴ヲ免カレリル者アリ此大行軍ニ由テ佛兵ノ利  
ヲ失ヒシハ世人ノヨク知ル所ナリ全軍ノ内魯西  
亞ノ塚ニ進入セシモハ多クハ死傷シテ生テ塚  
ヲ出テシ者ハ僅カニ六分ノ一ナリト云フ其死傷  
トハ固ヨリ敵兵ニ殺シレシモハ少ナカラスト  
雖ハ過半ノ食料ニ乏シクシテ飢渴ニ斃レタルモ  
ノリ是ニ由テ考レハ當時ノ一大俊傑ニシテ其  
老練此類ヲ拿破崙タリ雖ハ斯レ大衆ノ需要  
ヲ給シテ過不及ナカラシメテハハ速ク其  
才力ニ及ハソシエテハ可ク

右ノ二例ヲ視テ之ヲ考レハ經濟學ハ元人爲ノ法  
ニ非ラリハハ瞭然タリ其學ノ趣百ハ自カテ世ニ  
行ハルハ天然ノ定則ヲ説クノミナカ故ニ經濟  
ノ定則ヲ説クハ猶察地學ニ於テ地性ヲ論シ醫學  
ニ於テ病理ヲ明カニスルカ如シ且此學ヲ學ビ講  
究切瑣愈上達スルニ後テ愈其切實ナル真理ヲ探  
リ得ニシ近來ハ經濟學ニ其秘蘊ヲ極シ其真理ヲ  
明カニシテ世上ノ鴻益ヲ成ヌヲ舉テ云フ可ラス  
人或ハ此學ヲ輕侮シテ妄説ヲ唱フハ之ノナキニ  
非ラソレハ實ハ其先入スル所ノ陋見ニ惑ハヤレ

譯者補  
卷三

未々真、趣有ヲ知ラハ者ナリ、大凡天下ノ事  
物、於テ無知、有知、若シテ未タ一齋ヲ嘗ク  
シ、全昇、旨否ヲ論ス可ケレヤ、  
私有、本ヲ論ス、  
私有、ハ價、物ヲ躬カラ為、用、或ハ自由、  
之ヲ處ス可キ權ヲ云、物成、人ノ用ヲ為シテ甚  
ク大切、  
大氣、如キ是ナリ、是二物、貴、  
同日、論、非、  
化、賜、  
テ方人共ニ享、  
所、物、  
何、  
テ

特、之ヲ私ス、  
能、又政治、寛大、  
國  
ニ於テ人々、身ヲ自由、  
有様ヲ指シテ其、  
私有ト云、可ラス蓋シ斯ル善政ノ下ニ立ツ人  
民、自カラ作セ、  
由、身ヲ束縛、  
非、  
外、  
夫、自由安身ノ地ヲ得サル者  
ナ、  
又此理ヲ擴シテ考、  
人ノ言ニ往  
來、路ヲ稱シ、  
國中一般ノ私有ト云フ、  
モ、  
氏實、私有品、  
名ヲ下、  
可、  
私有得失ノ理ヲ辨ス、  
者、  
獨リ人類ノ、  
非、  
ス大凡有生ノ造物、  
天然、  
此性質ヲ備、  
ハ、

譯語精編

卷三

二十三



鳥ノ巢ヲ以テ其私有ル爲セルハ猶人ノ  
 家ニ於ケルカ如シ巢ハ鳥ノ勤勞ヲ以テ網繆セシ  
 モナリ家ハ人ノ勤勞ヲ以テ造營セシモノナリ  
 其得失ハ皆道理ヲ以テ基本トセリ人間私有ノ得  
 失ニ至テハ事稍繁雜ニ屬ス雖モ悉ク天然ニ胎  
 胎セサハハレシ後令ト無知無靈ノ獸類ニテモ大  
 ニ之ヲ辨別スハレアリ譬ハハ犬ハ街道ニ居テ  
 後徒ノ衣ヲ守リ成ハ主人ノ爲ニ倉庫ノ護衛ヲ為  
 セリ且又此犬ハ人ノ爲ニ物ヲ守ルニシテ自  
 カラ爲ニ其私有ヲ守ルコトヲ知リ即チ小屋ノ内

居ル犬ハ自カラ其私宅タル小屋ヲ守テ防禦セ  
 リ平生ヨリ其馴從セル人タリトモ強ヒテ之ヲ其  
 小屋ヨリ逐ヒ出サントスルハ必ス其人ノ意  
 後ノノシ  
 人類ニ於テハ後令ト草昧夷俗タリト雖モ私有ノ  
 得失ヲ辨別スルコト遙カニ禽獸ニ優リ亞米利加  
 土人ノ弓矢ハ其私有ノリ土人若シ私有ノ辨別ナ  
 クシテ其弓矢ハ常キクハ誰カ心力ヲ勞シテ自  
 カラ之ヲ作ルモノナラシ故ニ開闢ノ始ヨリ私有  
 理ハ人ノ天然ニ知ル所ニテ即チ人ヲシテ無為

西洋精義 卷三 二十四

ニシテ得ハカヲサル物ヲ有為ニシテ造ラシメ以  
テ其産ヲ修メシムル所以ナリ蠻野ノ民弓矢ヲ以  
テ野獸ヲ獲ルハ則チ其私有ノ為リ肉ハ以テ食ニ  
供シ皮ハ以テ衣ヲ作ル又物既ニ其私有トナレハ  
之ヲ他人ニ與フルヲ得ニ野民ノ弓矢ハコレヲ  
其子弟ニ傳ヘ或ハ他人ニ與フルモ妨ナシ又或ハ  
此弓矢ヲ以テ他人ノ私有品ト貿易スルコトモアリ  
航海者新ニ國土ヲ發見スルハ其土人獸皮ヲ携テ  
船ニ來リ船中ニ衣服珠玉ヲ交易スルコトヲ知レリ  
蠻野ノ民手ニ弓矢ヲ携ヘ身ニ獸皮ヲ着クハ即チ

其私有品ニシテ之ヲ携ヘ之ヲ着テ何レノ地ヲ徘徊  
スルトモ他ノ野民其品物ヲ認テ其人ノ私有ト為  
シ嘗テ怪ム色ノレ又雨露ヲ凌ク為ニ小屋ヲ造ル  
氏ハ其小屋ヲ身ニ從ヘテ動クニ能ハス且其身モ  
常ニ小屋ノ内ニ在ラヌト雖モ尚其人ノ私有タリ  
加之土地ヲ墾開シテ芋ヲ作ルハ其土地ハ即チ之  
ヲ墾開シタル人ノ私有ト為ル甲比丹英國有  
海家千七百二十八年ノ生ニ千七百七十九年名ノ航  
ヤンドゥカキ島ニ於テ其人ノ為ニ殺シタリ  
シララドカキヲ發見セシトキ其土人ノ有様ヲ見ル  
ニ蠢愚ニシテ且殺伐ナル人肉ヲ喰フニ至レ

南洋群島編 卷三

然其田園ハ籬ヲ作テ各常主アリシト云  
又夷俗ノ野民ニ私有ノ辨別ヲ知ル尚コレヨ  
リモ密ナリトアリ亞米利加ノ土人ハ各群ヲ成  
シテ一郡毎ニ定式ノ獵場アリ固ヨリ其場所ハ自  
然ノ山野ニテ藩籬ヲ設ケタルニ非ラザル自  
カラ境界ヲ立テ此群ノ私有ヲ獵場ニハ彼群  
ニ來ラ獵スルヲ許サス  
文明ノ人民ニ於テハ私有ノ辨別愈繁ニテ愈密  
ナリ我衣服ノ我私有ニハ我身ニ之ヲ着ルヲ以  
テ明ナリ時計錢袋小刀鑰匙ニ我懷中ニテハ則

テ我私有ニテ人ニ亦之ヲ見テ我私有ナルヲ許ス  
往來ニテ人ノ懷中ヲ掠擄スル者アラハ街卒又ハ  
路傍ノ人ニテ之ヲ見テ偷見ト為シ直ニ之ヲ捕  
テ可シ時計錢袋ハ身ニ附シテ動力ノ可ク物  
ニ家具書画等ハ如クハ親ニシテ身ニ附ルニ能ハ  
シテ常ニ之ヲ家内ニ置クハ故ニ是等ノ物ハ其家  
ニ住居スル人ノ私有トシテ外人若シカテ以テ之  
ヲ奪ハレトシ或ハ欺テ之ヲ取ルトスル者アリハ  
必ス之ヲ防カサル可ク是即テ巡邏街卒ノ任  
リ

私有二種ノ別アリ一ヲ移轉ト云ク一ヲ遺轉ト云フ移轉トハ此處ヨリ移シテ彼處ニ轉テ可キ物ヲ云フ金錢高賣品家具書画等ノ如キ是ガ遺轉トハ其處ヲ動カス可ラハ他人ノ遺傳トハ物ヲ云フ地面家宅ノ如キ是ガ遺傳トハ自カラ政府ノ法律ヲリ移轉品ハ其主人ガ明ナカ故テ守護スルニ難キ前條ニ云ヘル如ク人ノ懷中ニテ錢袋ハ其人ノ錢袋タルニ亦疑フ容ル可キ非ラズ地面家宅ノ類ハ其主人ノ主人ガ證ヲ顯ハス

移轉品ノ如クニ分明ノリ難シ家ヲ買テ代金ヲ拂フトモ終始其家ニ居テコレヲ守護ス可キニモ非ラス又コレヲ携テ動ク可キニモ非ラス故ニ國法ヲ以テ種々ノ證券ヲ認メ金ヲ出タシテ買取ルニ家ハ事實其買主ノ私有タルヲ明ニセリ此證券ヲヤリトシテゾト名ツク既ニ此證券ノレハ地面家宅等ヲ買ヒシ者ニコレヲ頼テ我私有ヲ守護シ後日ニ至テ故障ノ生ヌ可キ患ナシ尚又此遺傳ヲ固クマシテ為蘇格蘭又ハ其他ノ國ニ於テモトニゾトノ證券ヲ國中布告ノ書ニ附録スル

アリ斯、如クスレハ、仮令、證券ヲ失、或ハ之ヲ  
燒失スレバ、アモモ右ノ布告書ヲ以テ證ト爲シ、私  
有ヲ失フ、ナナル可シ  
地面家宅等ノ主人ヲ定ム、ハ事稍繁雜、且ソ分  
明詳細ノ證書ヲ用、カレハ其事情ヲ盡ス可ラサ  
シ、アソ譬ヘハ、三四人ニテ一軒ノ家ヲ持ツカ、如  
シ固ヨリ此家ハ三個四個ニ切ル可キ物ニ非ラサ  
レ、自カラ其一人ハ其一部ノ主人ナリ、又地面ヲ  
質、シテ金ヲ借ルハ、其金ヲ貸ル者ハ地面  
本主ニハ非ラサレ、一時其地面ヲ支配ス可キ主

人ナリ、コノ一人ノ金主アリ、又一人ノ地主アリ  
テ、金主其金ヲ地主ニ貸セ、トモ地面ヲ買フ、テ欲  
セ、ス、又ハ地主ヨリコレヲ賣ル、テ欲セサレハ、互  
ニ約條ヲ結ビ、今コノ地面ヲ直ニ引渡ス、トナレ、ト  
雖、凡、後日ニ至リ、其借金ヲ返サ、ル、凡、之ヲ引取  
ル、可シ、トノ趣ヲ定ム、カ、故ニ、金主ニ於テハ所謂質  
物ヲ預カル、ナリ、地主一度ニ其地面ヲ質入ス、ル、カ  
ハ、又他ニ約條ヲ結テ、先ノ金主ヲ欺ク可ラヌ、此欺  
偽ヲ防ク、モ、ハ、即チ國法ナリ、  
又國債ノ元金ヲ以テ私有ノ産ト爲ス者アリ、其法

左ノ如ク國ニ屢戦争ノ事アリハ政府ノ借金ニ亦  
隨テ増加スレテ國債ト云フ此國債ヲ償フニハ  
國內ノ稅額ヲ以テ之ニ當ルヨリ他ニ方便ナシ  
雖ル其高非常ノ大金ニシテ一時ノ稅ヲ集ルトモ  
固ヨリ之ヲ償フニ足ラサレハ法ヲ定メテ其利息  
ノミヲ拂ク元金ハ唯年々歲々漸次ニ其一部ヲ返  
スルニ故ニ國民私有ノ金ヲ費サスレテ唯其利息  
ノミヲ得シト欲スル者ハ其金ヲ政府ニ貸シテ國  
債ノ内ニ加入ス即チ國債ノ元金ヲ所持スルトハ  
是レヲ云フソリ右ノ如ク政府ハ唯利息ヲ拂フノ

ニシテ必スニ元金ヲ返リ、レハ最初元金ヲ出  
タシ者ハ一時ノ之ヲ得シト欲スルハ元金所  
持ノ名目ヲ他人ニ讓テ現金ニ代ルテ得ベシ事  
本編卷之一第  
十三條ニ出  
商人會社ノ元金ヲ以テ家産ト為スレハ又一種  
ノ別法ナリ平人私ニ會社ヲ結テ鐵路ヲ造リ港ヲ  
築キ市場ヲ開キ兩替座ヲ建テ水道ヲ引ク等ハ大  
事業ヲ企メハ國中ノ人先ツ其元金ヲ出タシ事  
成リ利生スルニ至ルハ各其元金ヲ出タセル多寡  
ニ應ジテ利潤ヲ分配ス商社ノ元金ヲ所持スルハ

一即... 事... 其法種々... 一般... 元金所  
 持、名目ハ以テ子孫ニ傳ヘ或ハ以テ他人ニ賣ル  
 可キ、他ノ物品ニ異ナルヲ、但シ其名目ハ手  
 ヲ以テ手ニ渡ス可キ實物ニ非ラサレバ之ヲ授受  
 スルニ證書ナカレバ可ク、事ハ本編卷之...  
 私有ノ種類ニ尚又一層、美ヲ盡シ繁ニ、且密  
 ナルモ、ソリ即チ發明ノ免許藏版ノ免許等は、  
 國法ノ趣旨ニ依リ、私有ヲ保護シ以テ其勤工ヲ  
 助ケ成ク所以ニシ、ソリ世ニ新發明ノ事ノハ  
 之、由テ人ノ間、洪益ヲ成ス、一舉ニ二益ヲ可ク、故

一有益ノ物ヲ發明シタ者ハ、官府ヨリ國法ヲ  
 以テ若干ノ期限ヲ定メ其期限ノ間ハ發明ノ由  
 得ル所ノ利潤ノ獨リ其發明家ニ附與ス、以テ人  
 心ヲ鼓舞スル、一助ト為レリ之ヲ發明ノ免許ト  
 名ツク、譬ヘハ爰ニ一士人アソクテ水ノ漏ル  
 布ヲ製ス、ソリ發明ス、則チ國法ニ由テ若  
 干ノ期限ノ間ハ獨リ此布ヲ製シテ利ヲ得、  
 免許ヲ受ケ此免許ヲ以テ私有ノ産ト為テ抑獨  
 リ物ヲ製シテ獨リ其利ヲ專ニス、壟斷ノ利ヲ  
 占メテ他人ノ損ヲ為ス、似タレバ其發明ニ由テ

世一 概益タルヲ大ナルカ故ニ世間ノ為ニ謀リテ  
 其所得ハ所損ヲ償テ過カニ餘アリ又書ヲ著述  
 ニ圖ヲ製スル者モ之ヲ其人ノ藏版ト為シテ獨リ  
 利ヲ得ルノ免許ヲ愛ケ以テ私有ノ産ト為セリ之  
 ヲ藏版ノ免許トイフナリ名ツク  
 勤勞ニ別テリ功驗ニ異同アルヲ論ス  
 カヲ勤勞スル者ハ或ハ物ノ形質ヲ變シ或ハ物  
 ノ處ヲ移シテ其物ノ品位ヲ增加ス故ニ其增加  
 シタル品位ハ即チ其人ノ有ルニ其物ヲ以テ  
 盡ク自己ノ需用ニ供スル歟又ハ力ヲ勞セシ多

寡ニ從テ其一部ヲ取ル於テ妨ガレシ  
 右ノ如ク力ノ勤勞ニ從テ生ルル所ノ功ハ其  
 勤勞ノ多寡ニ從テ大小アルカ故ニ其勞ヲ半  
 シテ其功ヲ陪ス可クス譬ハハ爰ニ一匠ノ  
 至當ノ術ヲ以テ一脚ノ椅子ヲ作ルハ他ノ拙  
 匠ノニ倣ヒ更ニ力ヲ省テ同様ノ椅子ヲ作  
 シタルルハ決シテ成ル可クハ理ニ故ニ椅子  
 ノ價ハ同時同處ニ於テ常ニ同様ノラサハ得  
 人且又椅子ニ於テハ自ク其數ヲ陪加スル  
 力ハ川行ノ書類等ニ相故ニ是等ノ職人ハ自



カラ一 種 全權アリテ恰モ壟斷ヲ私スルカ如  
シ其故ハ天下ノ衆匠椅子ヲ作ルニ此職人ノ作  
ルヨリヒ價ノ廉ノヒク此廉價ヲ以テ此  
椅子ヲ作ルヒ一 獨リ此職人ノミナレハナ  
力役ノ景況ハ斯ノ如シト雖ヒ心ヲ勞シテ發明  
ト工夫ト勤ムルニ於テハ其事情全ク相  
反セリ發明ニ夫ハ元無形ニシテ知識ヲ生ス  
ルヒノリ知識ハ人身軀中無形ノ部分タル  
精心ノ變動ノリ精心一 度ノ動テ知識ヲ生スレ  
ハ即チ其精心ノ品價ヲ増ス一 雖ヒ其品價ノ位

ハニ處ハ無形物ナレハコレヲ以テ其人ノ私有  
品ト為ス可ラハ或ハ又假ニ之ヲ私有品ト定ム  
トモ事實其人ノ用ヲ為リ且又精心ノ變動ニ  
由ラ生スル所ノ知識ハ唯其本人ノ思慮ニ感ス  
ルニミナラ藏テ之ヲ匿セハ他人ノ見聞スル  
能ハサルモナリ是即チ力役ト心勞ト其趣ヲ  
異ニスル所以ナリ  
事物ノ變化スル所以ノ理ヲ窮メテ其定則ヲ發  
明セントスルニハ非常ノ才力ヲ盡シテ時ヲ費  
シ財ヲ散スルニ非ラサルハ其極ニ至リ難シ

雖此一旦此定則ヲ發明スルハ九庸ノ人物  
ヲ之ヲ傳ヘ習フコトヲ得ハシ爰人ヲ一理  
ヲ發明シテ之ヲ鄰人ニ告レハ忽チ其人ノ精心  
ヲ動カシテ知識ヲ生ス鄰人又コレヲ他ニ傳フ  
レハ一時ノ間ニ千人ノ心ヲ動カシ又其知識  
ヲ生シ千ハ萬ニ傳ヘ萬ハ億ニ傳フ殊ニ此發明  
ヲ書ニ記シテ版本ト為スルハ其傳習ノ倍加ス  
ルニ更ニ際限アリテ故ニ始テ事物ノ理ヲ  
發明スルノ勤勞ト其發明ヲ聞ラシト傳フ  
ハ勤勞トテ比較スルハ其難易同クシ

テ語ル可ラスト雖此其發明ヲ私ス可ラス又之  
ヲ買賣ニテ獨リ壟斷ノ利ヲ占ムルノ方便ナシ  
其故ハ一旦人ノ知識ニ由テ發明スルコトハ  
其知識ヲ取テ人ニ傳フルニ固ヨリ勤勞ヲ費  
スニ足ラス之ヲ傳ヘ又之ヲ傳ヘテ其數ノ一時  
ニ倍加スルコト限ナク遂ニ買賣ノ價ヲ失フニ至  
レハナリ  
右ノ如ク精心ヲ以テ産スル物ハ其需用供給勤  
勞報酬ノ趣全ク尋常ノ物ニ反對スルカ故ニ常  
則ヲ以テ之ヲ制ス可ラス然リト雖此無形ノ産

物々發明工夫ハ以テ國家ノ大益ヲ起シ世人  
ノ幸福ヲ増ス可キ至大至重ノモノナレハ經濟  
學ニ於テハ自カラコノ產物ヲ處置スル法アリ  
テ其發明家ノニテ勞スルニ隨テ必ス其報ヲ得  
ルニシテリ  
文明國ニ於テハ無形ノ產物タル發明工夫ノ以  
テ人間ノ洪益ヲ成シ且其發明家ノハ者動モ  
トハ勞ニテ報ヲ得サルハ弊アリテ察ニテ乃  
法ヲ設ク此類ノ勤勞ヲ為レシ者ハ必ス至當  
ノ報酬ヲ得レシムルニ處置ヲ為レリ即チ藏版

免許發明ノ免許ノ如キ是ナリ著述家發明家  
ハ唯此法ニ依リテヨク其知識ノ產物ノ  
處置ニ由テ利潤ヲ受ルルヲ得ルテリ若シ  
然ラザルハ書寫著ニ物理ヲ發明スルトモ其  
心ハ勞ニテ得ル所ノ報ハ定式ノモノナクシテ  
唯世人ノ志ニテ傍ヲリ其功勞ヲ思ヒ聊之ニ附  
與スル所ノ褒賞ノミリハ可シ大凡天下ノ人  
功ヲ成シ其事業有形ノ產物ニ係ルト雖モ其物  
ニ由テ利潤ヲ取リ又從テ褒賞ヲ得ベシ然  
則チ心ハ勞ニテ無形ノ物ヲ産スルトモ獨リ其

西學小叢書

優賞ヲ得ルノモ常式ノ利潤ヲ得サルノ理  
右ノ議論ヲ推シテ考レハ尚又力役ト心勞トノ  
間ニ一種ノ區別アリ力役ト由テ産スルモノハ  
實物トシテ其多寡ニ限リ其價ニ定アリテ之  
ヲ他國ニ輸出スルハ其價ニ適當ス可キ他品  
ト交易ス可キ故ニ一國中ニ農工商ノ業ヲ勤  
美ニ産物ヲ多ク産出シ其國必ス富ヲ致スト雖  
無形ノ産物ハ之ニ異ナリ人ノ知識ハ他國ニ  
輸出スル他ノ實物ト交易ス可キモノト非ラス

且爰ニ一ノ知識アレハ之ヲ傳ヘ之ヲ習フテ  
忽チ其類ヲ陪加シ諸人ノ需ヲ飽カシムル至ル  
可シ故ニ一國ノ人民盡ク學者先生ニテ窮理發  
明其他教授ノ業ニシテ從事シテ他ノ産業ヲ  
修ルコトナクハ其國民富ヲ致リハルニミナラズ  
遂ニ飢渴ノ窮ニ陥ル可シ元來是等ノ職人  
學者ノ業由テ産スル物知識ハ他ノ職業ニ合  
セサレハ嘗テ功用ヲ為シスト雖モ他ト相合シ  
テ此彼相助ルルハ其功最モ大ナリ之ヲ譬ヘハ  
心ヲ勞スル者ハ猶蒸氣ノ如ク力ヲ役スル者ハ

猶機關ノ如シ機關ノ仕掛宜シキヲ得テ之ニ蒸  
氣ノ力ヲ施スルハ其功驗實ニ人ノ耳目ヲ驚カ  
スト雖此機關ヲ除テ獨リ其蒸氣ヲ放テハ唯空  
中ニ飛散スルノミ又機關ノ部分ヲ解クハ其  
材料ヲ以テ粗糙ノ用ニ供ス可カサルニ非ラサ  
レ此蒸氣ヲ以テ真ニ其作用ヲ起サレハ之ヲ  
無用ノ長物ト云テ可ナリ  
右ノ故ヲ以テ世上ノ職業各其類ヲ異ニスト雖  
此互ニ相助ケサル可クハ萬物ノ理ヲ窮テ其  
定則ヲ知ル者ヲケレハ蠻野ノ民ニテ免カレ

器械ノ用法ニ巧シキ者ヲケレハ知識ヲ研ク  
ノ方便ニ成ル其知識ヲ以テ之ヲ實用ニ施ス  
可クハ故ニ世人成ル其先入スル所主トナリテ  
ハ勞スル者ト力ヲ役スル者ト互ニ其職業ヲ  
輕侮スルノキニ非ラサレバ無謂ノ甚シキモ  
今一云テ可シ事實ニ於テ此兩様毫モ輕重ノ別  
ナシ双方互ニ力ヲ戮ヒ好合調和以テ物産ノ道  
ヲ進メ世ノ便利ヲ達スルノ幸福ヲ増スハ豈人  
間ノ一大美事ノラスヤ  
發明ノ免許ハ古世ニ此法ヲ以テ聞カ

今モ歐羅巴亞米利加ニテ他國ニハコレヲ  
シ英國ニ行ハル、トハ最モ舊シト雖モ僅カニ  
二百余年ノミ佛蘭西ニテハ千七百九十一年ヲ  
始トス亞米利加合衆國ニテモ千七百九十六年  
始テ此法ヲ建テ其後千八百六十一年コレヲ改  
正セリ此法ノ趣意ハ世ノ士君子新奇有用ノモ  
ノヲ發明シテ之ヲ秘ス、トテ世上一般ノ俾  
益ヲ爲メカ故ニ世人モ亦報恩、爲ニ暫時ノ間  
發明ノ利潤ヲ獨リ其發明者ニ附與シテ專賣ノ  
權ヲ執ラシムル所以ノモ、トレハ恰モ世上一

般ノ人ノ發明家ノ約条ヲ結フカ如シ故ニ發明  
家モ其免許ヲ受ルニ欺テ發明ノ秘蘊ヲ匿ス、ハ  
ハ國法ノ趣旨ニ戾リ又コノ免許ヲ與フル政府  
ニ於テモ既ニ世間ニ行ハル、陳腐ノ事ヲ採用  
シテ專賣ノ權ヲ附與スルコトアラハ法ノ行ハル  
、トテカナル可シ畢竟政府ノ目的トスル所ハ世  
間一般ノ爲メ謀テ發明家ニ專賣ノ大利ヲ許シ  
人心ヲ鼓舞シ、世ニ有益ノ發明多カラシメ、  
トスルニ在リ其法世ノ士君子窮理舍密器械學  
等ヲ研究シテ新奇有用ノ物ヲ發明スルコト

其次第ヲ書ニ記シテコレニ品物ノ圖ヲ添ヘ  
成ハ又圖ヲ以テ解シ難キモノハ其雛形ヲ造リ  
テ其書面ニ發明者ノ姓名ヲ記シコレヲ「パレン  
ト」ニスルニ云ハ「發明免許ノ官局ニ出シテ點  
驗ヲ請フ此局ニハ年來免許ヲ請ヒ種々ノ機  
關器械文具武器衣服冠履織物模様等千萬ノ繪  
圖雛形ヲ排列シ新ニ免許ヲ請フモノアレハ其  
品物ヲ局中在來ノ諸品ニ比較シテ未曾有ノ新  
工夫ヲハハハ則テ局ノ證書ヲ與ヘ其品物ヲ製  
シテ獨リ之ヲ賣ルヲ免ス但シ此免許ヲ受ル

年限ノ長短ニ從テ官ニ納ル稅ノ多少テ其割  
合亞米利加ニテハ三年半ノ免許ヲ受ルニハ稅  
銀十「ドル」ラニ七年ノ「」十五「ドル」ラニ十四年  
ナレハ三十「ドル」ラニ定ニス又新ニ工夫ヲ始  
メタル之ヲ試驗シテ成功ニ至ルヤラハ多少  
ノ時日ヲ費ス可クニテ其間ニ同様ノ發明ヲ以  
テ免許ヲ請フ者アラシクテ恐ルハハ其工夫  
ノ次第ヲ記シテ官局ニ訴ヘ預之ヲ防クヲ得  
ベシコレヲ「カス」ト稱スカス「ト」ハ預防ノ  
義ヲ既ニ預防ノ書ヲ局ニ納ルハ局中ニテ

洋書精編

西車抄 卷三  
ハ之ヲ秘シテ人ニ示サズ若シ其後一年ノ内ニ  
同様ノ發明ヲ以テ免許ヲ請フ者アレハ先人ノ  
納メ置キテ預防ノ書ヲ以テ前後ノ證ト爲シテ  
其免許ヲ與フルコトシ此預防ヲ請フニハ一年  
ノ稅銀十「ドル」ヲ以テ定メ既ニ一年ヲ經  
テ尚ホ未ク其工夫ヲ遂ケサルハ又十「ドル」  
ノ稅ヲ納メテ一年ノ期限ヲ延ハシ可シ又免許  
ヲ得サル物ハ免許ノ記号ヲ附ケ或ハ免許ヲ得  
タル人ノ名ヲ盜シテ贋物ヲ製スル者ハ其偽物  
十個毎ニ百「ドル」ノ過料ヲ拂ハシム都テ發

明ノ免許ノ與フハニハ公平ニシテ偏頗ノキヲ  
主トスルカ故ニ其官局ニ參カハ吏人ハ發明ニ  
夫ヲ以テ躬カラ免許ヲ受ハラ禁セリ○英國ニ  
テ發明ノ免許ヲ受ルハ先ツ其發明ノ次第  
ヲ官局ニ告テヨリ六月ノ間ニ稅ヲ納ムコトノ  
シテ其專賣ヲ許シ此間ニ免許ノ請フノ利害得  
失ヲ試ムコトヲ得セシム其發明ノ器品果シテヨ  
ク世ニ行ハルニ付テ免許ヲ受ハラテ便利  
ナソトスル者ハ政府之ヲ請ヒ專賣ノ期限十四  
年ノ免許ヲ得ベシ且又此十四年ヲ三期ニ分テ

西車抄 卷三  
三九



先ツ二十五ポントヲ納メテ初期三年ノ稅ト爲  
シ三年ノ期終ルハ又五十ポントヲ納メテ次期  
四年ノ稅ト爲シ四年終ルハ又百ポントヲ納メ  
テ末期七年ノ稅ト爲メ合シテ十四年ナリ斯  
如ク期限ヲ分ツ所以ハ一旦免許ヲ受ケル者モ  
其專賣ノ利潤少ナクハ中途ニシテ之ヲ廢ス  
ルコトヲ得ルニシテカ爲ナリ方今英國ニテ發明  
ノ免許ヲ與フルニ毎歲二千人ニ近シト雖モ多  
クハ中途ニテ廢止シ其七年ノ期ヲ越スル者尚持  
續スル者ハ僅カク二百人ニ過ラズト云フ

藏版ノ免許ハ此法ハ著述家ヲシテ獨其  
書ヲ版本ニ製スル專賣ノ利ヲ得ルニシテモ  
ナリ往古ノ法ハ唯有形ノ物ヲ以テ人ノ私有ト  
定メシガ爾後クハ知識ヲ以テ産スル無形物ニ  
テモ自カク實價ヲ得ルノ風俗ハナリシタレド  
稍近代ニ至ルニテハ國法ニ於テ未タ其詳ナル  
規則ヲ掲示スルニ至ラズ十七百六十九年英國  
ニ於テ遇藏版ノ事ニ自事故ヲ生シ藏版ハ永代  
著述家ノ私有ト爲メ可キヤ又ハ其年期ヲ限  
可キヤトノ議論アリテ遂ニ議事院ノ評議ニ從

年限ノモト定メ其年限ノ間ハ國法ヲ以テ著述家ノ專賣ノ權ヲ附與セリ千八百四十二年尚又此法ヲ改正シ著書專賣ノ期限ハ著述年ヨリ計テ四十二年ヲ限リ此期限ヲ終ラ其著述家存命ナレバ存命中ハ尚之ヲ許セリ書ヲ著ス者ハ先ツ其書名著述ノ年月著述家ノ姓名任所ヲ出版ノ會所ニ告ケ出版ノ後一月ノ内ニ其版本一部ヲ博物館ニ納メ其他國內四所ノ大學校ヘヒコソ納メリ○合衆國ニ於テハ千八百二十一年藏板免許ノ法ヲ改メ著述家ノ專

賣ハ二十八年ト定メ此期限ノ後モ十四年ノ間ハ其本人又ハ妻子ノ著書ヲ再版シテ專賣ノ利ヲ占ムコト得ベシ即チ其年限ハ前後合シテ四十二年ノ佛蘭西白月義ニハ年限ハ拘ハラズ著述家ノ生涯ノ其死後二十年ノ間相續者ハ專賣ヲ許スバツリトシテホハル其外日耳曼列國ニハ著述家ノ死後三十年ノ間コレヲ許ス澳地利ハ伊多利ノ諸國ト條約ヲ結テ双方ノ國々ニ書ヲ著スモノハ其遺稿ニテ四十年ノ間ハ相續者ハ開版專賣ヲ許

魯西亞、著述家、生涯、死後二十五年  
間、許、英國、藏版、免許、書籍、  
地圖新聞紙等、其他彫刻、像、皆、類  
合衆國、大同小異、書籍、地圖、標目、  
掛物、樂譜等、都、彫刻、版類、皆、屬、合衆  
國、於、藏版、免許、請、法、著書、開版、  
、其、書名、記、著家、付、處、官  
局、古、藏版、稅、一、部、書、月、半、  
、納、免許、手、數、銀、又、半、  
、開版、後、三、月、內

其版本一部、官局、納、其他、  
、書庫、一、部、議事院、書庫、一、部、  
、然、後、國法、以、藏版、守、護、國、內、  
、偽版、作、又、國法、犯、官、告、  
、開版、者、其、賣、弘、本、紙  
數、一、帖、付、半、  
、偽版者、手許、在、版本、  
、書、又、彫刻、版木、其、版木、没、入、  
、版本、紙、數、一、帖、付、一、  
、取、又、藏版、免許、受、ケ、サ、ル、書、偽、

受ケルモノト記スキハ仮令其版本ヲ賣買  
セリハトモ百ドルノ過料ヲ取ハ又千八百  
五十六年ノ法例ニ據ルハ戯作狂言ノ著述ニモ  
藏版ノ免許アリテ其著述家ノ承諾ヲ得サレハ  
之ヲ戲場ニ施スヲ許ス若シ然ラズトテ他ノ  
作ヲ盜ニ私ニ戲場ヲ設ルモノアレハ初テコレ  
ヲ犯ス者ニハ百ドルノ過料ヲ取リ次ニ之  
ヲ犯ス者ニハ五十ドルノ過料ヲ取ル○英  
國政府ニ於テ自國ノ著述家ヲ保護スルカ爲メ千  
八百一十八年議事院ノ評議ニ從テ各國ノ約条

ヲ結ビ互ニ藏版免許ノ法ヲ守ラレトノ説ヲ立  
テ佛蘭西普魯士リッソニハノカフグロレ  
スウツク等ノ諸國ハ此説ヲ採用シ此國ニテ  
書ヲ著ス者ニハ各國互ニ免許ヲ與ヘテ專賣ノ  
權ヲ妨ルル勿ラレトシ但シ其書ヲ互ニ輸入ス  
ルニ相當ノ稅ヲ取ルニ合衆國ニテモ英國ノ  
説ニ從テ互ニ藏版ノ法ヲ守ラレトシ既ニ千八  
百五十四年ニドワハトニエタレット外國事務執政  
ノル給ト其約條ヲ結ハレトスルニ至リニカト  
テ上院ノ内ニ異論アリテ今日ニ至ルニ未タ

其事ヲ遂ケスル云フ  
私有ヲ保護スル事  
國法ヲ以テ人ノ私有ヲ保護スルハ國中貧富ノ別  
ヲ皆其恩澤ヲ被ラセシムルニ或ハ又富豪ノ  
勢ニ乘ルテ暴行ヲ恣ニシ不正ヲ行フハ弊ヲ  
非ラセシムル此弊ハ元私有ヲ保護スルニ爲シ生  
タレハ是非ヲス畢竟他ノ法度ニ次典ヲ以テ以  
テ然ラズハハヒテ良政府ニ下テ於テハ一人  
富ヲ致シテ衆人其福ヲ共ニシ俟令ハ卑賤ノ小民  
カリトモ自個ノ利益ヲ謀ルヲ知ラハ私有保護ノ

趣意ヲ誤解スルカレ小民ノ自カラ衣食ヲ給  
其不幸ヲ免カシムル所以ニ唯富人ノ有餘ヲ仰ク  
私有ヲ保護スルニ其處置ノ第一着ハ先テ人ノ勤  
勞ヲ保護スル可シトシテ蒸氣機關ヲ工夫シテ  
功ヲ多クシテ世以テ其功ニ報ジ自個ニ其報ヲ得  
ト概シテ之ヲ示シテ志力ヲ勞ニテ從テ生スル物  
アラハ其物ヲ躬カテ所持シ成ルハ之ヲ賣テ價ヲ取  
ルニ他ノ物リ之ヲ妨グル理ナシ故ニ勤勞ヲ保護ス

譯者清編  
卷三  
四四

一十時即其勤勞。由人生之理。私有品ヲ保護  
不ハ川見少譬。職人外給料ハ其私有之品  
又人心力ヲ勞。從テ其報ヲ受。ハ正理タラ論  
ハ世ハ修心學ヲ趣。其ハ經濟學ニ於テ論。ハ所  
ハ世ハ形勢斯。如ク正理ニ赴クヲ得。ハ必ス一般  
為。利益益。ハ可。所。若。世  
為。功。其。報。得。目。何  
力。徒。カ。勞。ハ。世。功。立。者。ハ。即  
世。間。般。損。亡。ハ。此。識。論。ヲ。以。私  
欲。行。ハ。辭。不。示。者。ハ。固

ヨリ無根。妄言其辨解。俟タス人ヲ。世。為  
ニ功ヲ為。ハ。後。至。當。報。得。ハ。於  
何。等。妨。ハ。可。ハ。決。ハ。私。欲。云  
可。ハ。大。凡。人。ト。一。身。俸。養。為。又。其。妻  
子。衣。食。ヲ。給。ハ。天下。通。理。ハ。今。此。國。ニ。生  
レ。テ。大。功。ヲ。立。ル。者。ハ。由。テ。其。國。益。ヲ。成  
ス。ハ。ミ。ナ。ラ。ス。自。カ。ラ。一。家。ノ。産。ヲ。起。テ。其。子。孫。ヲ。ニ  
テ。飢。寒。ノ。患。ヲ。免。カ。レ。不。羈。獨。立。ノ。活。計。ヲ。遂。ケ。シ。ハ  
ヘ。ケ。レ。ハ。一。舉。ニ。テ。公。私。兩。採。ノ。幸。福。ヲ。成。ス。ハ。ト  
云。フ。可。ハ。抑。勞。ハ。報。ヲ。得。ハ。ハ。心。ハ。果。シ。テ

理ノ當然ニ出ルモ、歟或ハ又然ラザル歟姑ク其  
是非邪正ノ論ヲ置キ試ニ見ヨ天下古今ノ人類誰  
カ此心意ナキモノゾ今若シ強テ此心ナカラシメ  
ト欲セハ宜シク不食不眠ノ人ニ就テコレヲ責  
ム可キノミ  
故ニ心力ヲ勞シテ其報酬ヲ受ハハ確乎不拔ノ正  
理ニシテ其報酬ヲ我私有ト為スニシテ之ヲ  
他ニ分與スルヲ能ハサシハ未ダ私有ノ趣意ヲ蓋  
スニ足ラズ現ニ有功ノ者ニ非ラサハ外ハ決シ  
テ其報酬ノ賜ヲ與ハスルヲ能ハサシトシテハ

成ハ之ヲ受ケテ其益トシ猶食ヲ味ナキカ如シ且  
又斯ノ如クナハハ其心力ヲ勞ハハ者ニ唯一身  
ノ私欲ノ役セラハハスノト云テ可ナリ故ニ家産  
ヲ積テ子孫ニ遺ハシ私有ヲ自由ニスルノ趣意ニ  
テコレヲ人生最後ノ自由ト云フ人若シ此自由ヲ  
失ク遺物ヲ子孫ニ傳フルノ目的ナクハ唯存命ノ  
間ニ忙ハシク其私有ヲ處置セシトシ之カ為遂ニ  
ハ風俗ヲ乱タリ國法ヲ破ル弊ヲ生メ可ク世上  
或ハ其例ヲマコ非ラズ  
心力ヲ勤勞シテ家産ヲ起シタル者ハ生前死後共

之ヲ自由ニ處置之ヲ人ニ傳フルヲ得ルカ  
故ニ之ヲ受ル者ニ直ニ我私有トナシ自由ニ之ヲ  
處置スルヲ其先人ニ異ナクナレ○人ノ遺物ヲ傳  
フルニ最モ妨ナキモ、ハ其子ナリ子ナキモ、ハ  
其近親ニ與フルモ亦可ナリ是即チ自然ノ人情ナ  
リ、文明國ニ於テハ人ノ死期ニ當テ遺言ナキ者  
ト雖モ死後ノ遺物ヲ處置スルニ當テ、死者ノ心  
ヲ推シテ之ヲ至親ノ者ニ傳フ、ヲ以テ定例トセ  
リ加之某國ニテハ子ナキ者一旦其家産ヲ他人ニ  
讓ルニテ其後ニ子ヲ生ハルハ則チ、之ヲ取返シ

テ實子ニ與フルヲ許セリ又各國ニ於テ人ノ産ヲ  
妻子ニ遺リスシテ他人ニ與フルハ國法ノ禁スル  
所ナリ  
私有ノ産ヲ自由ニハ、一、度ニ過レハ國民一般ノ  
利益ヲ妨ル弊アリ國民一般ノ利益ヲ重ムル  
度ニ過レハ私有ノ越意ニ害アリ兩様ノ間ニ至當  
ノ境界ヲ定ムルハ難事ナリ、ハ文明國ニ於テハ  
稍、其紀律ヲ設ケリ第一、ハ私有ノ産ニ富ムト雖  
モ其富有ノ威光ヲ自然ニ任シテ度ニ過レトナリ  
ラシ、第二ニハ人民ヲ保護シテ富有ノ威光ニ苦

西洋列國  
卷三



シ、ラ、リ、一、勿、ラ、レ、ハ、ニ、テ、趣、百、ト、ヒ、リ、世、間、ニ、富  
ヲ、致、ス、者、ア、レ、ハ、其、勢、ニ、乘、レ、テ、同、類、ノ、人、ヲ、賣、奴、ノ  
如、ク、ニ、仕、役、ス、ル、ト、モ、妨、ナ、ク、此、惡、習、ヲ、以、テ、一、般、ノ  
風、俗、ヲ、成、セ、ハ、國、ア、リ、昔、年、佛、蘭、西、ニ、於、テ、騷、亂、ノ、前  
ニ、ハ、國、ニ、貴、族、ヲ、シ、テ、者、ア、リ、テ、其、富、有、最、モ、盛、ナ、リ、シ  
カ、私、有、ノ、土、地、ヲ、領、シ、テ、稅、ヲ、出、タ、ス、ト、ナ、シ、然、ル、ニ  
貧、窶、ノ、小、民、ハ、却、テ、私、ノ、稅、ヲ、納、ル、ニ、ミ、ナ、ラ、ス、又、此  
貴、族、ノ、為、ニ、空、ニ、ク、仕、役、セ、ラ、レ、タ、リ、是、即、チ、富、有、ノ  
威、光、ヲ、自、然、ニ、任、セ、ハ、シ、テ、適、度、ヲ、過、シ、タ、一、例、ナ  
リ、英、國、ノ、於、テ、ハ、決、シ、テ、此、惡、習、ヲ、シ、

前論斯ノ如シト雖ニ富有ノ威光ヲ自然ニ任シ其  
力ヲ逞フヒレハハノヒテ之ヲ監察スルヲナクハ  
亦以テ不正暴行ノ柄トシテ可シ貧ニシテ惡心ア  
ル者ハ賄賂ヲ貪ル人ヲ殘殺シ或ハ偽テ自カラ證  
人ト爲リ私ニ人ノ惡ヲ助クル等ヲ以テ其常習ト  
セリ今伊多利葡萄牙ノ一貴族他人ト不和ヲ生  
ルルハ金ヲ以テ刺客ヲ買ヒ私ニ其仇ヲ殺スル其  
容易ノ上ト格及ヒ其他東洋諸國ニ於テ裁判所  
ニ訴訟ノ事トシテ富人ノ常例ニ從テ金ヲ出  
偽證ノ人ヲ用ヒテ常ニ其公事ニ勝チ貧者ハ常



曲ヲ蒙ラリル一ナシ魯西亞、於テモ裁判所ノ吏  
人動キスハ、賄賂ヲ受ケテ不公平ノ處置ヲ爲ス  
アリ我英國ニ於テ斯ハ不正ノ事アラハ其事ニ  
關係セル者ハ盡ク罪人トシテ必ス刑ニ處セラハ  
可シ  
私有ヲ保護スルハ貧人モ共ニ其徳ヲ被ハトシ  
一ハ前既ニ之ヲ論シタリ家産ニ有餘ヲク又不足  
ナキ者ハ固ヨリ人ノ物ヲ分與スル能ハザルカ故  
ニ貧ニシテ不幸ニ逢フ者ハ唯富有ノ餘ヲ仰テ一  
時ノ難ヲ免リ、是即チ文明諸國ノ風俗ニ

私有ヲ貯蓄スルハ徳澤ナリ私有ヲ保全スルハ  
國ノ爲ニ一大緊要事ナリ人ノ生命ヲ保全スル  
ニ至テハ其事更ニ又重大ナリ故ニ窮民ヲシテ誠  
死ノ難ヲ免ルルニカ爲救窮ノ法ヲ設ケリ其  
法ハ前段ニモ記載ヤト如ク有餘ノ財ヲ以テ不足  
ノ窮ヲ救ヘ、趣意ナリ  
私有ノ保護ニシテハ隨テ又其冗費アリ國  
ニ私有ノ財少クシテハ裁判所ノ吏人市中ノ街卒  
獄屋ノ數ヲモコレニ準シテ減少ス可シ元來裁判  
刑獄ノ法ヲ設ルハ其冗費ハ悉ク國中ノ稅額ヨリ

出ルカ故ニ私有ヲ貯フルト最モ多キ者ハ税ヲ納  
 ルト最モ多カシキハ理ナリ蓋シ裁判刑獄ノ  
 德澤ヲ被ルト最モ多キ者ハ私有ヲ貯ルト最モ多  
 キ者ナレバナリ此理ヲ推シテ考レハ飢寒ニ苦シ  
 小民ハ動スレハ他ヲ害スルカ故ニ國ニ救窮  
 ノ法ヲ設ルハ片ハ富豪ノ人ニ亦共ニ其德澤ヲ被ル  
 ノ理ナリ又人民教育ヲ被リ風俗文明ニ赴キテ人  
 々私有ノ趣百ヲ知リ一身ノ職分ヲ辨スルハ之  
 カ爲國中富豪ノ人ノ利益ヲ爲ス一舉ヲ云フ可ラ  
 故ニ是等ノ趣意ヲ以テ税ヲ納シ金ヲ費スル富

人ニ於テ固ヨリ當務ノ職分ト云フ可シ  
 抑富有ノ人ハ唯國法ニ從フノミヲ以テ其處置ヲ  
 盡スリトス川ヲ不法ニ禁スルト否トハ拘ハル  
 都テ其私財ヲ處置スルニハ宜シク躬力ヲ怠意ヲ  
 除キ他人ノ害スルヲ以テ先務ト爲ス可シ  
 是即テ富人ノ利益ノミヲラヌ或ハ其職分ト云フ  
 可ナリ元來私有ノ財ヲ保護スルハ國中一般ノ便  
 利トハ雖臣主トシテ其保護ヲ受ルモハ富人ヲ  
 リ故ニ國中一致シテ他ノ富有ヲ保護スレハ其保  
 護ヲ蒙ルモ亦其恩ヲ謝シ世ト一般ノ爲ニ善

ヲ施シ、ル川ラ、國內ノ富人ヨク此趣百ヲ辨  
富ヲ以テ其地位ノ威權トヲ得、ハ又從テ其責ニ  
任ス可キ所以ノ理ヲ知ルルハ其國常ニ安全ヲ  
サルハナシ  
私有ノ利ヲ保護スル事  
凡ソ私有ハ何品ニテ之ヲ他人ニ貸シ、ハ其報ト  
ニテ物ヲ納ムヲ常トス即チ其物ハ私有ヲ貸シタ  
ル人ノ利潤ナリ家ヲ以テ私有トスル人ノ利潤ハ  
家賃トシ船ヲ以テ私有トスル人ノ利潤ハ船賃ト  
リ又金ヲ以テ私有トスル人ハ其金ヲ貸シテ利息

ヲ取レ可シ但シ利息ノ多少ハ時ノ事情ニ由テ一  
様ノラズ  
商賣ノ利トハ元金ヲ用ヒテ物ヲ賣買シ從テ得ル  
所ノ利潤ナリ此利潤ヲ生スル所以ノ原因ハ多ク  
ハ元金ノ多少ニ在ラズシテ其人ノ勞逸ニ關係ス  
ルカ故ニ或ハ之ヲ勤勞ノ報ト云テ可ナリ但シ金  
錢ノ利息地代家賃等ノ如キ私有品ニ由テ生スル  
所ノ利潤ハ全ク其趣ヲ異ニシ其主人ハ嘗テ心力  
ヲ用ヒス何等ノ功勞ナシト雖モ其物品ヨリ自  
ラ利ヲ生ス可シ都テ私有品ヲ貯ルハ其人ハ何人

タルヲ問ハス其物ハ何品タルヲ論セス唯其物ヲ  
 用ルニ由テ錢ヲ得ルナリ  
 開化ヲ被リタル國ニ於テハ私有ニ屬スル利潤ハ  
 必ス其主人ニ附與セリ其法公正ニシテ且巧ナリ  
 ト云フ可シ前既ニ論セシ如ク私有ノ産ハ産ヲ起  
 シタル本人ニ屬ス可ク又其本人ヨリ之ヲ他ニ與  
 フレハ則チ又其人ノ私有ト爲カ故ニ其私有ニ  
 由テ生スル所ノ利潤モ本ノ私有ト共ニ歸スル處  
 ヲ同ス可キノ理ナリ若シ然ラザレバハ私有ニ甚  
 タ貴トスルニ足ラズシテ自ラ之ヲ得ニテ爲勉

強スル者少ク遂ニ國益ノ基本トシテ人生ノ勤勞  
 ヲ衰ハシムルニ至ル可シ抑私有ニ由テ生シタル  
 所ノ利潤モ他人爲テ以テ人ニ奪ヒシモノナラハ  
 之ヲ其主人ニ附與セシトスルハ理ニ當ラサルニ  
 似タレバ其生スルヤ決シテ人爲ニ非ラス恰モ天  
 然ノ理ノ以テ私有ナルモノハ實ヲ結ビタルナリ  
 然ハ則チ誰カノ實ヲ取ル可キヤ其私有ノ主人  
 ニ非ラザレハ他ニ其人ヲカル可シ  
 地代ハ一種ノ利潤ニテ自カラ一種ノ事情アリ凡  
 ソ世上ノ私有品ハ其品物ヲ用テ又從テ心力ヲ勞

シ以テ其物ノ品位ヲ増スト雖此地面ニ於テハ然  
ラズ地主ニ一毫ノ功勞ヲクシテ俄ニ地代ノ騰貴  
スルコトアリ蓋シ其故ハ人口増加シ耕作ノ業盛ナ  
ルニ由テ然ラシムルモノナリ譬ハ一島ア  
リテ島ノ沃土ノニニ産スル穀物ニテモ島ノ人口  
二倍ヲ養フ可ク其瘠地ヲモ耕サハ三倍ノ人口ヲ  
養フ可キハ其島ニ居テ地面ヲ所持スルトモ嘗  
テ其品位ナシ之ニ及シテ島ノ人口次第ニ増シ良  
田ノミヲ耕スルハ僅カニ其人ノ食ヲ給スルノ  
ニニテ少シモ餘ナクハ漸ク瘠地ヲ求メテ耕ス

者アリ人口尚又増加シテ初メハ三十シカリシグ  
ノ以テ一俵ノ麥ヲ買ヒシ者モ四十シカリシグ  
投シテ之ヲ買ハシムルに至レハ人皆爭テ薄田  
瘠地ヲ求メ耕作ヲ業トスル者日々多シ然レニ瘠  
土ヲ耕ハト沃土ヲ耕スルハ其勞逸甚ク異ナリト  
雖此産シタル麥ノ價ハ同様ナリカ故ニ人皆金ヲ  
出タシテ沃土ヲ耕サシメ好ム可シ是即チ地主  
ニ一毫ノ勞ヲクシテ利潤ヲ得ル由縁ナリ  
故ニ地面ヲ買テ其地ニ品位ヲ増スルハ必ズ利潤  
ナカル可ク所謂地代ナルモノ是ナリ地代ノ利

人為國法ヲ以テ定メタルニ非ラズ天然  
然ラシム所ニテ猶水ノ低ニ就クカ如ク國法ノ  
主宰ハ唯其地面ノ主人以テ定メ其授受賣買ノ規則  
ヲ正スルニ抑些少ノ功勞モクテテ地代ノ利  
潤ヲ一人ノ附與スルハ理ヲ以テ似クハ其來ル  
所ヲ尋レハ元人ノ物ヲ奪ヒシニモ非ラズ亦他人  
ノ力ヲ勞役セシニモ非ラリハ前條ニモ記載セ  
ル道理ニ從フ之ヲ其主人ニ與テテ以テ至當  
處置トシテリ  
西洋事情外編卷之三終

# 慶應義塾藏梓

慶應義塾藏印

西洋事情 福澤諭吉著 全三冊 條約十國記 福澤諭吉著 全一冊

同 二集三集 近刻 西洋衣食住 片山傳之助著 全一冊

同 外編 全三冊 英文熟語集 小幡篤次郎著 全一冊

同 西洋旅案内 全二冊 華英通語 福澤諭吉著 全一冊

西澤清次郎著  
卷三

福澤諭吉著  
蒙訓窮理圖解

全三冊  
脱稿近刊

小幡篤次郎著  
天變地異

全三冊  
脱稿近刊

# 不許僞板

## 書

京都 出雲寺文次郎

大坂 伊丹屋善兵衛

尾陽 永樂屋東四郎

勢州津 篠田伊十郎

出雲寺萬次郎

東都 内野屋彌平治

岡田屋嘉七

## 肆



